

「奄美・沖縄」世界遺産へ

ユネスコ登録勧告、再挑戦実る

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関は10日、亜熱帯の森に貴重な動植物が生息する「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（鹿児島、沖縄）を世界自然遺産に登録するよう勧告した。2018年に登録延期勧告を受け、いったん政府推薦を取り下げたの再挑戦だった。20年のユネスコ世界遺産委

員会が新型コロナウイルスの影響で延期されたため、さらに1年遅れての登録実現となる。

7月16～31日にオンラインで開催される世界遺産委で正式に決まる見通し。日本の世界遺産は文化遺産を含めて現在23件。自然遺産は

11年の「小笠原諸島」（東京都）に続き5件目となる。鹿児島県の奄美大島と徳之島、沖縄県の沖縄本島と西表島の4島にまたがる推薦区域は計約4万3千ヘクタール。大半を森林が占め、アマミノクロウサギやイリオモテヤマネコなど数多くの固有種を誇る。

マングローブ林＝沖縄県・西表島



①西表島に生息するイリオモテヤマネコ＝沖縄県・西表島
②アマミノクロウサギ＝鹿児島県・奄美大島

4島は小さな面積にもかかわらず、日本にいる脊椎動物の種類の6割に当たる約740種、昆虫類の2割の約6千種が生息。政府は「生物多様性が突出して高い地域」と説明する。推薦区域には大型の肉食動物がおらず、希少な動物が多く生き残ってきた。アマミノクロウサギはかつてユーラシア大陸にもいたが、天敵の捕食などで絶滅。現在は奄美大島と徳之島のみに分布し、「生きた化石」と呼ばれる。飛べない鳥のヤンバルクイナは沖縄島北部のみに生息する。西表島のイリオモテヤマネコは、ネコ科の野生動物として世界最小の面積の島で暮らす。小型哺乳類や鳥、昆虫、両生類、甲殻類など多様な動物を食べて生き延びた。奄美大島や西表島などの河口にはマングローブ林が広がる。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【

①今回（5月10日）、ユネスコの諮問機関が世界自然遺産に登録するよう勧告したのはどこの島・地域ですか。

②ユネスコは日本語で何といいますか。

③日本の世界遺産は文化遺産を含めて現在何件で、自然遺産は何件目となりますか。

文化遺産は 件 自然遺産は 件目

④4島にまたがる推薦区域の森林では、どんな固有種がいますか。

⑤日本の世界自然遺産を調べてみよう。